

2009 年度 名古屋研修旅行 名古屋で留学生とプロジェクトワークをしました

日本文学科で日本語教育を学ぶ2年生14名が、南山大学外国人留学生別科の上級クラスで学ぶ留学生20名と合同で日本の教育について調査して発表する「日本の教育プロジェクトワーク」を行いました。

2月16日

名古屋城見学の後、南山大学に到着。この日はティーパーティーの後、留学生にキャンパス案内をしてもらいました。

2月17日

本格的に研修スタート。ライティングのクラスやホテル観光日本語のクラスに分かれて参加し、会話のサポートなどをしました。

7つのグループ毎にプロジェクトワーク開始。メンバーでまずは「プロジェクトワークを成功させるためには、どうしたらよいか」というテーマでアイデアを出し合いました。



午後、グループ毎に中学校や高校、塾を訪問し、授業見学の他、生徒や先生へのインタビューを行いました。

2月18日

昨日の学校訪問で調査してきたことをもとに、発表用のポスターと発表原稿作り。留学生と日本人学生が得意分野を発揮して準備します。



2月19日

ポスター発表会。7つのグループそれぞれが設定した「幼い子供に外国語を教えるのは効果的か」「女子部の生活は共学とどんな点が違うか」「女子高生は自分の生活に満足しているか」「現在の高校制度は良い大学生および社会人の育成に成功しているか」などの論点に従って調査し、考察した結果を発表しました。



参加メンバーで記念撮影。お疲れ様でした！

【MG 生の声】

・ただ会話をするだけではなく「プロジェクトワークを成功させる」ということをしなければいけない中での会話や作業だったので、とても貴重な体験になった。コミュニケーションの取り方、わかりやすい日本語に直すということについて学べた。何より色々な人と仲良くなれて楽しかった。

・今回のプロジェクトワークで留学生と一緒に準備したり発表したりすることはすごく新鮮でした。相手が分からない日本語をより簡単な日本語にして説明するのが難しかったです。

・今回のプロジェクトワークで一番大変だったことは、コミュニケーションをとることです。単に日本語の能力の話だけではなく、文化が違うということも影響してこちらが言いたいことをわかってもらえなかったり、留学生が伝えたいことをこちらがくみ取れなかったり、悔しい思いをたくさんしました。

・日本人だけの発表とは違った、新しい感じのプロジェクトワークだったので、とても新鮮だったし、面白かった。日本人は発表の仕方が下手だと言われているけど、本当にそう思う。でも、外国人と一緒に発表することで、自分も自分なりに楽しく分かりやすく発表しようと頑張れた。みんなで頑張ったので、とても楽しかったです！

・今回、この旅行に参加することができて本当によかったです。実際に学習者の方々と接することで、今まで自分が日本語教育において机の上で学んできたことに加えてすごく刺激を受けました。こういう機会は留学生が少ないMGではなかなかないですし、5日間という短い間でしたが一生の思い出になるほどいい旅行でした。また、世界各国の人とお話がたくさんできてまさしく異文化交流ができたと感じています。ますます

日本語教育の勉強への意欲がわきました。

【留学生の声】

・このプロジェクトはこれまでの中で一番楽しくて知識が得られた活動だったと思う。それは日本の教育について学んだり、日本人と一緒に努力したり、日本の文化や言語に関する理解を深めたりできたからだ。

・仙台からの学生に出会えてよかったです。この交換はとても楽しくていい経験でした。一緒にプロジェクトをしたり、遊んだりして楽しかった。友達ができたのはよかったです。

・MG 生と会えて本当にうれしく思う。それも仲良くできてとてもよかった。短い間だったけど、すごく親しくなれて長い間付き合っていたような気がする。言葉にできないほどとてもとても楽しかった。一緒に色々なところに行ったり、外食した記憶を大切にしたい。もう1つの宝物を手に入れたような気がする。